

研究種目：若手研究（スタートアップ）
 研究期間：2008 ～ 2009
 課題番号：20820050
 研究課題名（和文） 初期自立論証派中観思想の解明

研究課題名（英文） The Study of the Doctrines of Early Svātantrika Mādhyamika School.
 研究代表者
 宮本 浩尊 (MIYAMOTO HIROTAKA)
 大谷大学・文学部・助教
 研究者番号：10507974

研究成果の概要（和文）：従来のインド中観思想史は、分派史として理解されてきた。これは、チベット仏教の伝承を無批判に採用したものであった。そこで、初期自立論証派の論師バーヴィヴェーカの思想に注目して、彼の思想とその伝承とを比較研究することを通して両者の矛盾点を指摘し、その実態を正しく理解することを目指した。その結果、バーヴィヴェーカを巡る従来の思想史理解には訂正を要する箇所があることを指摘することができた。

研究成果の概要（英文）：Previous scholars have understood the history of Indian Mādhyamika school as a history of schism. This is due to having adopted without criticism the account of the Indian Buddhism relayed in Tibet. In this research project, I have paid particular attention to the thought of Bhāviveka, who was a scholar of early Svātantrika Mādhyamika school. And, by comparing his thought with the accounts concerning it in the areas where Mahāyāna Buddhism spread, i.e., Tibet and East Asia, I clarified the contradictory points between the two. As a result, I ascertained that there were places where corrections are necessary regarding the past history of thought about Bhāviveka's doctrines.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	1,060,000	318,000	1,378,000
2009年度	950,000	285,000	1,235,000
年度			
年度			
年度			
総計	2,010,000	603,000	2,613,000

研究分野：仏教学

科研費の分科・細目：人文学、印度哲学・仏教学

キーワード：中観学派、自立論証派、バーヴィヴェーカ、認識論

1. 研究開始当初の背景

(1) 近年の仏教思想史研究においては、中央アジアやチベットから発見された新出サンスクリット写本の公開と、これに基づいた思想研究が注目を集めた。この傾向は、中観思想史研究の領域においても見られるものであった。近年の中観思想史研究においては、

帰謬論証派（以下、帰謬派）の論師チャンドラキールティ（7世紀頃）による『中論』註、『プラサンナパダー』に関して、新出サンスクリット写本（オックスフォード大学所蔵）を利用した Anne MacDonald 氏の研究が注目された。この研究は、『プラサンナパダー』に対する新たな解釈の可能性を指摘するも

のであった。また、Ye Shaoyoung 氏によるチベット招来の『中論』のサンスクリット断片と、帰謬派の論師ブッダパーリタ（6世紀頃）による『中論』註、『佛護註』のサンスクリット写本の公開は、従来、『プラサンナパダー』からのみ抽出可能とされてきた『中論』の偈頌の研究に新たな資料を提供し、『佛護註』に対するサンスクリット原典に基づいた研究を可能にするものであった。しかし、これらの研究は、帰謬派中観思想に関連するものばかりであり、自立論証派（以下、自立派）の中観思想に関する研究、その中でも特に初期自立派の思想に関する研究は、未解明の問題を数多く残したまま停滞していた。

(2) 「経量行中観学派」という呼称は、チベットにおいてバーヴィヴェーカ（6世紀頃）の思想的立場を著す呼称として頻出する。しかし、この呼称をインド撰述文献の中に見いだすことはできていない。この呼称とバーヴィヴェーカの思想との関係性については、松本史朗氏と梶山雄一氏によって一定の見解が学界に提出されている。その中で、梶山氏による「中観思想の歴史と文献」（『講座大乘仏教7 中観思想』、春秋社、1982）は、「経量行」を経量部の思想と関連づけて理解する宗義書の記述に注目し、インド撰述文献に見られる経量部の学説とバーヴィヴェーカの思想とを比較検討した先駆的研究である。

(3) 松本史朗氏は、「*ITa ba'i khyad par*」における中観理解について（『曹洞宗研究員研究生研究紀要』13、1981）において、チベットにおける「経量行中観学派」という呼称に対する理解の歴史の変遷を検討した。その結果、初期のチベット仏教においては、この呼称が必ずしも経量部との関係性を意味するものではなかったことを明らかにした。これに対して、斎藤明氏は、「*ITa ba'i khyad par*」における「経（部）中観」の意味（『印度学仏教学研究』55・2、2007）において、この松本氏の見解を否定している。

(4) 玄奘に始まる中国法相宗では、彼らの奉じたダルマパーラ（6世紀頃）の論敵としてバーヴィヴェーカの思想を批判的に受容したと考えられてきた。しかし、近年、師茂樹氏は、バーヴィヴェーカの論理学的思想が東アジアの仏教思想に及ぼした影響を議論し、その影響力が大きなものであったことを指摘した。すなわち、師氏の見解に従えば、法相宗は、バーヴィヴェーカの思想を批判しながらも、その思想の影響を受けていたことになる。

2. 研究の目的

(1) 「経量行中観学派」という呼称を手がか

りにして、初期自立派の論師バーヴィヴェーカの思想の内容を明らかにする。

(2) チベット仏教に伝承された宗義書文献を利用して、チベット仏教におけるインド中観思想史に対する理解の変遷を歴史的な経過に従って整理する。

(3) 「法相宗によるバーヴィヴェーカの中観思想の批判的な受容」という事例を研究することを通して、東アジアにおける自立派中観思想の影響について明らかにする。

3. 研究の方法

(1) バーヴィヴェーカの真作とされる文献を利用して、彼と瑜伽行学派の論争の内容を整理する。当該の主題に関連する議論は、バーヴィヴェーカの思想的特徴を示すメルクマールとされていることから、バーヴィヴェーカの思想的特徴を明らかにする上で有効である。

具体的な作業としては、バーヴィヴェーカの主著『中観心論頌』第5章、『中論』に対する注釈書である『般若灯論』第25章、そして漢訳でのみ現存し、法相宗によって伝承されてきた『大乘掌珍論』の校訂テキストと翻訳研究を作成することを目指した。

(2) チベット仏教思想史は、大きくツォンカパ以前と以後に大別することができる。本研究では、ツォンカパに始まるゲルク派の宗義書に注目し、自立派に関する記述を歴史的に整理し、松本氏が言うような歴史的展開が認められるか否かを明らかにすることを目指した。

(3) 法相宗の学僧に帰せられる文献には、バーヴィヴェーカの中観思想に関する記述が認められる。その内容を抽出し、歴史的、地域的に分類し、整理することを目指した。

4. 研究成果

(1) 『般若灯論』と、これに対する復註『般若灯論広註』第25章の校訂テキストと翻訳研究を完成させた。また、『大乘掌珍論』の翻訳研究を完成させた。この内、『般若灯論広註』のテキストと翻訳は、学位請求論文として公表する予定である。

また、この作業を通して明らかになった内容を論文にまとめ、学術雑誌に投稿した。

(2) ゲルク派に属する宗義書の中で、『大宗義書』、『チャンキャ宗義書』、『学説宝環』の自立派の章を翻訳し、その思想的展開を考察した。その成果は、学位請求論文に反映される予定である。

(3) 法相宗の学僧に帰せられる文献から、バ

バーヴィヴェーカに関する記述を抽出し、これを歴史的順番に従って整理した。これと同時に、法相宗の学僧が著した『大乘掌珍論』に対する注釈書を翻訳した。その成果は、学位請求論文に反映される予定である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

- ① 宮本浩尊、バーヴィヴェーカによる瑜伽行学説批判の思想的背景、仏教学セミナー、査読無、第 91 号、2010 年、掲載予定。
- ② 宮本浩尊、バーヴィヴェーカの認識論—二諦説に依拠した分別知と無分別智の設定—、印度哲学仏教学、査読有、第 25 号、2010 年、掲載予定。

[学会発表] (計 1 件)

- ① 宮本浩尊、バーヴィヴェーカの認識論—二諦説に依拠した分別智と無分別智の設定—、北海道印度哲学仏教学会、2009 年 8 月 29 日、北海道大学 (北海道)。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

宮本 浩尊 (MIYAMOTO HIROTAKA)

大谷大学・文学部・助教

研究者番号：10507974